

Change

2010年12月21日

No.17

JR東海労新幹線関西地本
http://www.geocities.jp/jrcu_s_kansai
メールアドレス jrcu_kansai@ybb.ne.jp

絶対に許さん！ とことん「日勤教育」！！

先月、大阪修繕車両所で車両の移動時に「手歯止め割損」の事故が発生しました。原因は一部の作業を「失念」したためですが、会社は、当該社員に対して3週間にもわたり「日勤教育」を行い社員に過度のプレッシャーをかけ続けました。

それは、長時間の事情聴取、時系列等報告書の作成。そして、時系列等報告書の作成が終了してからも、本来業務から外され、窓もない部屋で1日中ひとりで知悉度確認テストの日々が繰り返し行われ、また就業規則の朗読なども行われました。これらは、事故原因に対する教育ではなく、イジメ的な教育といえます。「不十分な安全対策」しかせず、何か事故が起こった時には全て社員の責任にして『絶対に許さん！』というのがこの間の会社の姿勢なのです。

社員の「心の病」を推進させ 「法律」の主旨にも反するJR東海！

これまでもJR東海会社の関西支社管内において、「心の病」で休んだり、薬を処方してもらっている社員の現状について明らかにしてきましたが、過度のプレッシャー（今回は長期の「事情聴取」や「日勤教育」等）は社員を追い込むものでしかなく、これらの事がうつ病などの「心の病」を発症する引き金になりかねず、「心の病」になってからケア（会社のとっている「メンタルヘルスケア」等）するのでは本末転倒であり、本来は法律（自殺対策基本法）等に定められているように、予防の観点からの対策が大切です。

私たちJR東海労は、勤務変更を行ってまでの執拗な事情聴取や見せしめ的な、社員にプレッシャーをかける「日勤教育」には反対します。